



虹のフェスタ in うえだ

『たべる・たいせつ・みんなの笑顔』

県生協連では、2006年度虹のフェスタinうえだを、10月8日(日)に長野大学
体育館(上田市)において開催しました。(関連記事2P)

CONTENTS

虹のフェスタ in うえだ.....	2	医療部会・介護福祉部会合同視察研修会.....	5
第2回定例理事会.....	3	長野日本無線生協総会.....	6
第3回常任理事会.....	3	県消団連第4回幹事会・消費者トラブルアンケート.....	7
国会議員訪問.....	3	第36回長野県協同組合連絡会委員会.....	7
6県連業態研修会議.....	4	会員生協紹介：松本大学生協.....	8
第2回介護福祉部会.....	4	Information.....	8
介護福祉部会長野市懇談.....	5		

生協連の主要な活動

虹のフェスタinうえだ

長野県生協連と虹のフェスタ in うえだ実行委員会は10月8日(日)、長野大学体育館(上田市)において「虹のフェスタ in うえだ」を開催しました。会員生協から自主的に応募された34人の実行委員が、4回に亘る委員会で企画内容を練り上げ、「たべる・たいせつ・みんなの笑顔」をテーマに取り組みました。当日は好天に恵まれ、組合員や一般参加者に子どもたちを合わせ、およそ1100人が参加しました。

パネルディスカッションでは、長野大学の古田睦美助教授をコーディネーターに、パネラーとして上田市教育委員長の太塚貢さん、食農共育を実践する細井千重子さん、虹のフェスタ実行委員の西澤美奈都さんが、「何を食えばいいんだろう?」をテーマに意見を述べ合いました

様々な会員生協の組合員からなる実行委員会では「食グループ」「健康グループ」「フェアトレードグループ」に分かれ、企画づくりから始めて当日のブース設置まで自分たちの力で作り上げました。今年度の大きな特徴として、行政や地域の諸団体、NPO法人などに参加協力を要請し、長野県や上田市、上田市教育委員会の後援をいただき、長野県歯科医師会や信州農産物PR協会、NPO法人待学園スクオーラ、信州大学繊維学部などの協力を得て、生協の枠を超えた地域づくりに貢献することができました。また、長野大学から様々な配慮をもらう中で、会場作りが実現しました。参加者アンケートからも、「とても楽しかった」「パネルディスカッションがためになった」等の好意的な感想が多数寄せられました。



ご協力いただいた後援団体等(順不同)

長野県	上田市	上田市教育委員会
農林水産省 長野農政事務所	長野大学	長野県歯科医師会
上田小県歯科医師会	食と農と環境を育むネットワーク	JA長野中央会
信州農産物PR協会	全農長野	長野県消費者団体連絡協議会

第2回定例理事会

8月28日(月) 第2回定例理事会をメルパルクながの(長野市)において開催しました。

8月2日に開催した第2回常任理事会を受けて、7月の第1回定例理事会以降の会議報告等を17件行って確認したほか、長野県生協災害対策検討委員会の設置と県労福協県政要請への生協連としての要望の2案件を協議しました。

第3回常任理事会

9月11日(月) 第3回常任理事会を松本勤労者福祉センター(松本市)において開催しました。

第2回定例理事会以降の会議報告を確認したほか、県労福協県政要請への生協連としての要望と長野県食育推進会議への加入の2案件を協議しました。



第3回常任理事会

生協法改正問題での国会議員訪問

8月18日(金)に、篠原孝衆議院議員の長野市の事務所に伺い篠原議員と懇談を行いました。米原俊夫県連会長、清水邦明県連専務、阿部玲子コープながの理事、小松事務局長及び事務局1名の計5名が出席し、篠原議員に生協の現状を説明し、生協法の改正問題について理解を求めました。

翌8月19日(土)には、宮下一郎衆議院議員の伊那市の事務所に伺い懇談を行いました。米原俊夫県連会長、北林昇コープながの常務理事、伊藤香、小飼初穂、湯沢誠子コープながの理事のほか、コープながのの組合員さんが参加して、宮下議員に生協の現状を説明し、生協法の改正問題について理解を求めました。宮下議員からは取り組みについてアドバイスをいただきました。



篠原孝衆議院議員との懇談



宮下一郎衆議院議員との懇談

生協連の主要な活動

6 県連帯合同 業態研修会

「6 県連合同業態研修会」は、
栃木・群馬・埼玉・茨城・新潟・
長野の 6 県の職域生協が開催して
いる研修会です。今年は長野県が
ホスト県となり 8 月 22 日(火)~23
日(水)に開催し、各県から総勢で
37 名が参加しました。第 1 日目は、
セイコーエプソン事業所の生協食
堂と店舗を視察し、実際に食堂メ
ニューを味わうなどしました。



カゴメ富士見工場会議室で



あいさつする米原俊夫会長

続いて、カ

ゴメ富士見工場を視察し、日本生協連で扱っている飲料の製造工程を見学したり、加工用トマトの収穫体験を行い、坂本工場長から「野菜と健康」の話の聞きました。その後ホテルで全体会議を行い、各県からの活動報告を行い交流しました。

第 2 回介護福祉部会

9 月 1 日(金)、第 2 回介護福祉部会をコープながの長池センター(長野市)において開催しました。医療部会と合同で取り組む愛知県の南医療生協視察や、介護福祉部会と長野市の懇談について協議しました。また、介護福祉交流会の企画内容を確認し、各生協から状況や問題点を出し合って共有化しました。



第 2 回介護福祉部会

介護福祉部会長野市懇談

県生協連介護福祉部会は、10月5日(木)長野市役所・職員会館において、長野市介護保険課と懇談会を開催し、川崎部会長(全労済長野県本部専務理事)以下7名が参加しました。



生協側からは介護福祉部会や各会員生協の取り組みの現状報告を行い、長野市の介護福祉行政については、出席した長谷部介護保険課長と高野介護保険係長から説明を受けました。

介護保険制度の改正による、現場での事務処理の増加や、利用者へのサービス低下等の問題点が出され、市としても国へ必要な提言を行うことや、出来る改善は協力し合って行うことなど、有意義な話し合いとなりました。

医療部会介護福祉部会 合同視察研修

医療部会と介護福祉部会は、10月6日(金)～7日(土)にかけて、合同で愛知県の南医療生協と社会福祉法人「愛知たいようの杜」を視察しました。今回の合同研修会は、地域に住み続けるためのまちづくり・施設づくり・仕事づくり等、組合員が中心になった活動についての交流や、小規模多機能施設の取り組みの施設見学を目的に開催されました。医療部会高藤部会長(長野医療生協専務理事)、介護福祉部会川崎部会長(全労済長野県本部専務理事)をはじめ、5生協の33名と県連



南医療生協での交流の様子

事務局1名が参加しました。第1日目は、南医療生協の介護福祉事業の取り組みやグループホーム「なも」から小規模多機能ホーム「もうやいこづくり」、生協ゆうゆう村づくりの取り組みについての報告を伺いました。また、参加者が4つのグループに分かれて、施設見学とグループ交流・討議を行いました。

2日目は、「愛知たいようの杜」のゴジカラ村：遠藤施設長の講演を「古民家ほとぎの家」で聞いた後、特養・ケアハウス・モデル住宅の施設見学を行いました。

長野日本無線生協・総会

長野日本無線生協は、9月6日(水)に長野日本無線株式会社管理棟ホールにおいて第45期通常総会を開催しました。

組合員総数1119人に対して847人の出席(実出席107人書面出席740)であることが報告され、紅林孝夫理事長の挨拶では、売上の伸張や一定の剰余



挙手による採決

が出たことを報告する中で組合員の利用結集に対する謝意を表しました。西田良正専務理事が、第1号議案「平成17年度事業報告の件」、第2号議案「平成17年度決算及び剰余金処分(案)承認の件」について報告し、第3号議案「平成18年度事業計画並びに収支予算案承認の件」については、対前年比101%の事業計画であることを説明して提案しました。議案は挙手によって採択され、三つの議案全てが満場一致で可決され、総会が無事終了しました。

消団連関連

長野県消団連第4回幹事会を開催しました

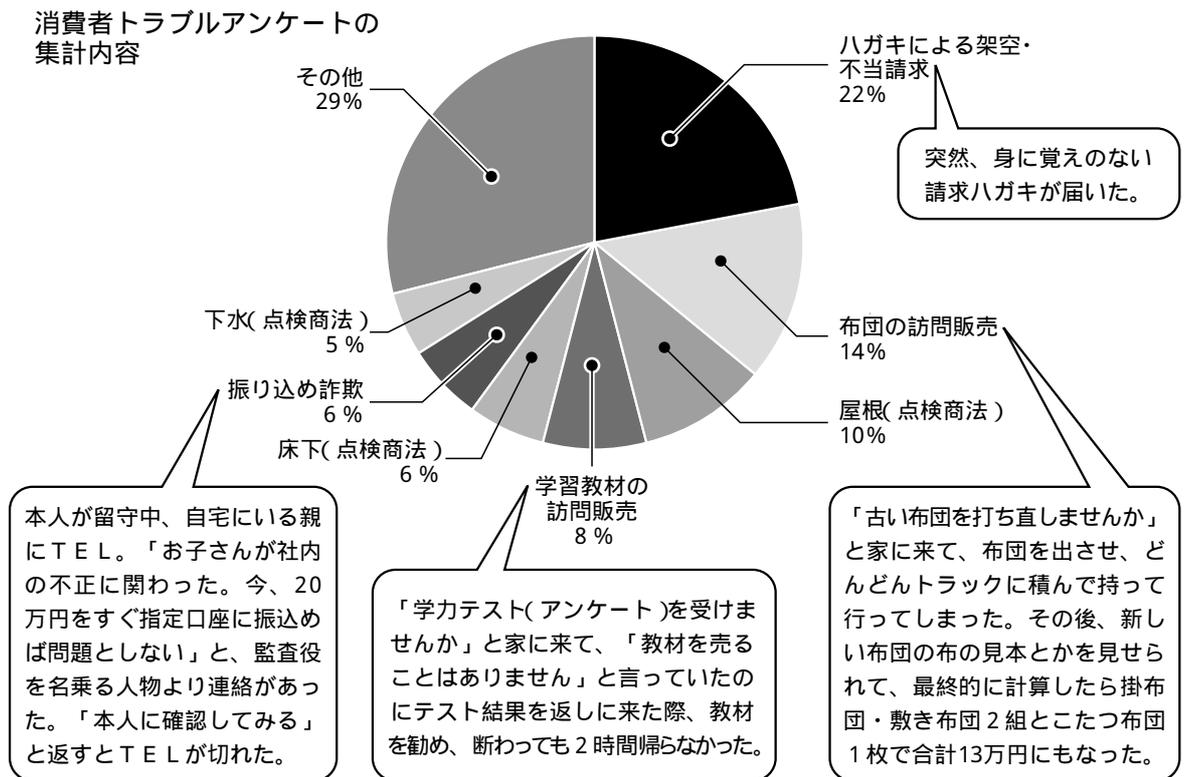
県消団連は9月7日(木)、長野県婦人会館において第4回幹事会を開催しました。第3回幹事会以降の会議や諸活動の報告、行政・諸団体からの情報提供について確認しました。長野県消費生活条例の制定を求める運動の取り組み経過や今後の進め方、第37回長野県消費者大会の発表について等7つの事項を協議しました。



< 消費者トラブルアンケート集計結果 >

長野県消団連は、長野県の消費生活条例を制定させる取り組みをすすめる中で、7月から「消費者トラブルアンケート」に取り組み、8月の第1次集約までに2000件もの回答が集まりました。下記に、集計結果の全体の内容についてグラフ化して掲載いたします。

消費者問題では、パロマのガス給湯器事故、シュレッダーやエレベーター、流水プールなどでの事故も広い意味での消費者被害といえます。行政、事業者、消費者がそれぞれの責務と役割を果たし、悪質業者を許さない健全な社会作りのために、協力できるところは協力し合って取り組むことが必要になっています。



第36回長野県協同組合連絡会委員会

9月4日(月)、J A長野県ビル(長野市)において第36回長野県協同組合連絡会委員会が開催され、長野県生協連、長野県漁連、長野県森連、農協から25名が参加しました。

米原俊夫連絡会委員長(県生協連会長)が主催者を代表して開会の挨拶を行った後、議長に就任して司会進行を務めました。2005年度の活動報告や収支決算・2006年度予算等について議案審議を行い、すべて満場一致で承認されました。その後、「協同組合間提携の課題と今後の方向」と題し、(社)J A総合研究所の櫻井勇常務理事が講演を行いました。



あいさつする米原俊夫委員長

松本大学生生活協同組合*****

中村誠一専務理事に松本大学生協について、その歴史から現在の状況、今後の抱負を伺いました。

松本大学生協は、2001年に松商短期大学生協として設立され、松本大学設立と同時の2002年4月より松本大学生協に名称変更をしました。

大学自体が生協を育てていこうということで設立された経過もあり、教職員の方々の生協に対する思いがとても厚く、先生方の協力もあって会計も良くなってきているそうです。また、学生の全員加入を原則に入学金の中から出資金をいただいているということで、当初、学生・教職員500人弱の組合員で出発し総会を開催していましたが、毎年学生数が増えて組合員が1000人を超え、今年度からは代議員の審議による総代会方式へと運営方法も変わりました。



レストランと店舗の入ったフォレストホール

中村専務は、「今期、観光ホスピタリティー学科が出来、来期には新たに人間健康学部が出来るということでここ数年は学生（組合員）が150人ずつ増えていきます。2つの食堂（フォレストホールとラウンジ）と売店について、増えた学生の規模にあったサービスが提供できる施設の拡充といった必要性が予想され、大学側にも依頼を行っていきたくです」と話されました。現在は、2つの食堂で席数が300人規模しかありませんが、同規模生協と比べてもメニュー数が多く、高いレベルのサービスを維持しています。最後に中村専務は、「今後の課題として、自分から出資した実感のない学生組合員が多いので、彼らに生協という認識を持ってもらう取り組みを強めたい」と話され、「この夏合宿では、学生委員会も総代さんと共に店舗を良くしていこうと燃えているので、継続して元気な学生委員会や総代組織を作っていきたい」と抱負を述べられました。



中村誠一専務理事

松本大学生生活協同組合 〒390 1295 松本市新村2095 1 TEL:0263 48 7280
理事長：住吉廣行 組合員数：1 499人 出資金：224 900千円

Information

- | | |
|--|---------------------------------|
| 10月17日(火) 上期監査会 長野県生協災害対策検討委員会 | 11月9日(木) 虹のフェスタ in うえだ第5回実行委員会 |
| 10月18日(水) 県消団連第5回幹事会 | 11月11日(土) 県労福「なんでも相談ホットダイヤル」 |
| 10月20日(金) 中央地連都県連責任者会議
県労福協第14回労働者福祉学校 | 11月16日(木) 中央地連大規模災害対策協議会 |
| 10月22日(日) 東信医療生協健康まつり | 11月22日(水) 第2回中央地連都県連事務局会議 |
| 10月24日(火) 長野県総合防災訓練(木曾)
多重債務問題シンポジウム 労福協理事会 | 11月24日(金) 中央地連生協法改正報告会 |
| 10月25日(水) 第4回定例理事会 | 11月29日(水) 中央地連運営委員会 第45回全国消費者大会 |
| 10月27日(金) 第10回消費者条例制定WG会議 | 12月1日(金) 第37回長野県消費者大会 |
| 10月29日(日) 生活クラブ生協生き活きまつり | 12月4日(月) 労福協編集会議 |
| 10月30日(月) 県労福協県知事要請 | 12月7日(木) 第6回常任理事会 第5回定例理事会 |
| 10月31日(火) 信州大学経営大学院第2回公開講座 | 12月8日(金) 全国消団連全体会議 |
| 11月6日(月) 第5回常任理事会 | 12月9日(土) 介護福祉交流会 |
| 11月7日(火) 信州大学経営大学院第3回公開講座 | 12月13日(水) 労福協理事会 |
| | 12月14日(木) 全国都県連責任者会議 |
| | 12月18日(月) 男女共同参画シンポジウム |

会報 **ねっとわあく** 187

発行：長野県生活協同組合連合会 〒380 0921 長野市栗田950 6 メゾン栗田102

TEL 026 224 3161 FAX 026 224 3162

ホームページ <http://nagano-seikyoren.org/index.php>

